

# 最近の動きについて

---

平成30年7月31日

# 政府の取組方針

- 平成30年6月15日に「未来投資戦略2018—「Society 5.0」「データ駆動型社会」への変革—」が閣議決定され、観光地における交通需要調整のための料金施策検討が位置付けられている。
- 同日、閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」(骨太方針)においても、位置づけられている。

## 未来投資戦略2018【抜粋】

### —「Society 5.0」「データ駆動型社会」への変革—

#### 第2 具体的施策

1. Society 5.0の実現に向けて今後取り組む重点分野と、変革の牽引力となる「フラッグシップ・プロジェクト」等

[3]「行政」「インフラ」が変わる

2. 次世代インフラ・メンテナンス・システムの構築等インフラ管理の高度化

(3) 新たに講ずべき具体的施策

ii) 交通・物流に関する地域の社会課題の解決と都市の競争力の向上

- ・ 観光地域において地域・資源を楽しむ質のよい移動を実現するため、ICT・AIなどの革新的技術を活用し、交通需要調整のための料金施策を含めた面的な観光渋滞対策の導入を推進する。

[4]「地域」「コミュニティ」「中小企業」が変わる「行政」「インフラ」が変わる

4. 観光・スポーツ・文化芸術

(3) 新たに講ずべき具体的施策

i) 観光

- ③ すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境
- エ) 高速交通網の活用による「地方創生回廊」の完備
  - ・ 道の駅のインバウンド対応の促進、高速道路周遊バスの充実、高速道路ナンバリングの普及、ETC2.0等を活用したピンポイント事故対策の実施、交通需要調整のための料金施策の検討などの取組を推進する。

## 経済財政運営と改革の基本方針2018【抜粋】

#### 第3章 「経済・財政一体改革」の推進

5. 歳出改革等に向けた取組の加速・拡大

(既存資源・資本の有効活用等による歳出改革)

既存資源・資本の有効活用等により、財政が厳しい中であっても必要な再投資を可能とするとともに、中期にわたる円滑な取組を強化するなどの予算上の対応を工夫しつつ、賢い予算支出を実現する。

受益者負担にも配慮しつつ、電波利用料収入やコンセッション収入などを増加させる方策を検討し、これらの収入により確保した財源を、将来必要となる投資等に有効活用するとともに、PDCAを構築し、しっかり評価する。また、生産性向上、観光促進等のため、交通需要調整のための料金施策の検討を推進する。

# 地域・資源を楽しむ質のよい移動の実現

重点的に取り組む観光地域では、訪日観光客の増加も睨みつつ、自動車・歩行者・公共交通など総合的な対策を、産学官連携の下でETC2.0やAI等も活用した共通情報基盤を構築しながら推進し、地域・資源を楽しむ質のよい移動の実現が必要。



# 世界に誇れる観光都市「鎌倉」の実現への支援

休日を中心に著しい道路交通渋滞が発生する鎌倉では、ロードプライシングの導入を目指しており、有識者や国・県・市など関係者からなる協議会等を設置し、地域の取組を支援。

## 鎌倉市の現状

- ・ 鎌倉市には年間2,000万人を超える観光客が来訪。
- ・ 鶴岡八幡宮、鎌倉大仏等の観光地周辺で休日を中心に著しい交通渋滞が発生。



## 鎌倉市の提案

### これまでの主な取組

パーク&ライド

シャトルバス運行

バス専用レーン

鎌倉フリー環境手形



## 鎌倉ロードプライシング(仮称)



ETC2.0等を活用した交通分析や課金の仕組み等を検討

## 2020年の導入を目指す鎌倉市の取組みに対して支援

(観光交通イノベーション地域として選定し、有識者や国・県・市など関係者からなる協議会等で検討)